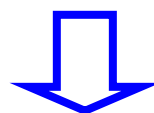


かき氷レンタル手順書 2016年

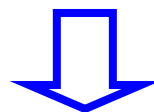
2015年までの問題点

自治会会員の藤野様所有の機械を借用していたが、機械が古くなり、かく為にはかなりのスキルが必要。また、かいた氷にふわふわ感が無い(刃が切れない)



2016年はレンタルで対応することを組長会で決定。

- ・特別なノウハウが必要なく、取り扱いが簡単。
- ・かいた氷がふわふわして美味しいと好評。
- ・毎年メンテナンス(切れ味等)された機械で快適に使える。



2017年以降もレンタルがおすすめ。

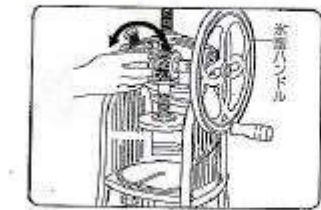
レンタル手順

- (1) レンタク会社(サークランド)のホームページから予約。
<http://www.sarkland.co.jp/>
- (2) 確認メールが来るので機種や日程を確認して返信。
予約時に「ご利用日」の入力を2日間にする事!
- (3) 指定日に配達されるので機械を受け取り、料金支払い。
- (4) 回収予定日に回収に来るので引き渡し。

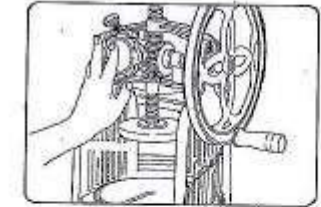
ポイント

- ・借りた機種: 手動かき氷機(ブロック氷用)
- ・3泊4日(配達、2日間使用、回収)が標準で8,800円
- ・配達先/回収場所ともに誰か組長さんの自宅
- ・7、8月は混むので早め(7月初旬)に予約する。

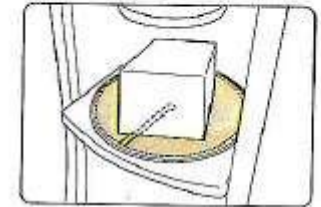
■運転の手順



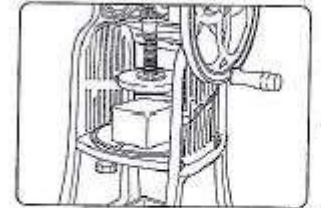
- 1** 氷をセットする。
- 上下ハンドルを反対方向に回して氷押えを上げてい。



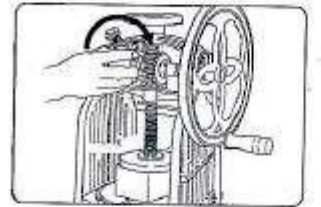
- 上下ハンドルから手を離して氷押えが落ちないことしてください。
- ※落ちるとケガをしますので注意してください。



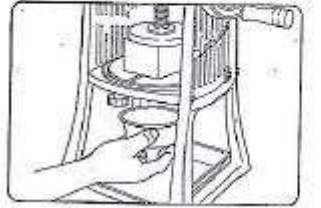
- 円盤の中心に氷をのせます。氷が円盤よりはみでていないしてください。はみ出ると氷が割れなかったり、斜めに氷が飛び出したりすることがあります。
- ※氷押えのクギ及び刃物に触れないでください。触れるをすることがあります。



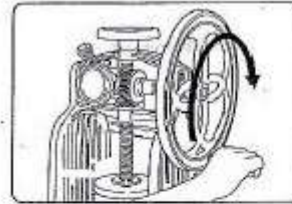
- 氷から手をはなしてください。



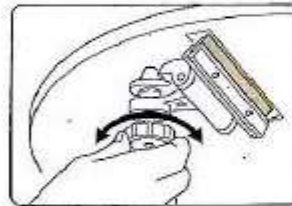
- 上下ハンドルを時計方向に回し、氷に氷押えのクギをこませて確実に固定します。不十分ですと氷が飛び出れがあり、危険です。



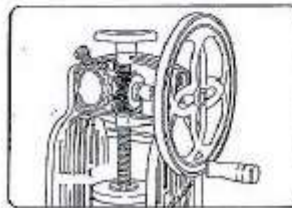
- 2** カップを受ける。
- 円盤の下にカップなどの容器を受けてください。



- 3** 氷削ハンドルを時計方向にまわす。
- 氷削が開始されます。



- 4** 氷削粗さの調節をする。
- 刃物調節ツマミをまわして、お好みの粗さにします。標準粗さ約1mm（円盤上面から刃先までの高さ）
 - 右にまわすと粗くなり、左にまわすと細くなります。
 - 刃物調節ツマミ1回転で約1mm動きます。回転可能範囲2～3回転



- 5** 氷削ハンドルを止める。
- 氷削が停止します。

氷をかく「刃」が手前にあるので、氷の出し入れの際に「刃」に触れないよう注意すること。

■円盤上の氷の取り出し方法について

⚠ 警告

氷を出し入れするときは、刃先に直接手を触れないこと
ケガの原因になります。



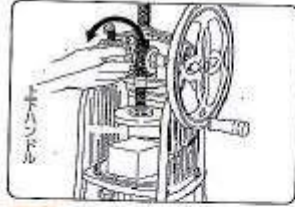
禁止

⚠ 注意

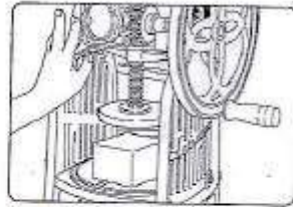
氷押えのクギに手を触れないこと
触れるとケガの恐れがあります。



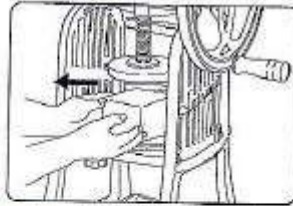
禁止



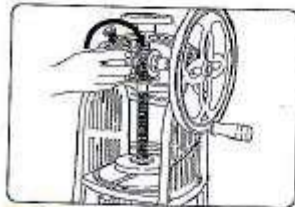
1 上下ハンドルを反時計方向に回して氷押えを上げます。



2 上下ハンドルから手を離し、氷押えが落ちないことを確認します。



3 円盤から氷を取り出します。



4 氷押えは、上下ハンドルを時計方向に回して下げておいてください。

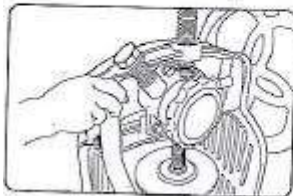
■強弱調節ボルトについて

⚠ 注意

強弱調節ボルトの調節は、上下ハンドルから手をはなしても氷押えが下がらないよう調節すること
ケガの原因になります。



調節



氷を押える力の調節に使います。

- 調節には付属のスパナを使用します。
- 右へまわすと強くなり、左へまわすと弱くなります。
- 上下ハンドルをまわして力を確認します。
上下ハンドルから手をはなしても下へ下へならず、上げる時に重くない程度が最適です。